

カレッジだより



21期生323人が晴れて卒業

第21期生の卒業式が3月22日、カレッジホールで行われ323人が卒業されました。服部祥子学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあ



と、服部学長の式辞に続き、来賓の福本富夫・神戸市保健福祉局高齢福祉部部長の

祝辞と祝電披露があり、在校生代表・藤原利幸（食文22）さんの送辞があり、卒業生代表・石橋正好（食文）さんが答辞を述べました。グループからは小畑理事長が出席しました。このあと、参加者全員で校歌を歌って終了。卒業証書は、各教室で講師から手渡されました。コース別の卒業生は健福62人、国際78人、生環60人、美工28人、音文33人、園芸28人、食文34人でした。卒業生からは、ジェットタオル2台とプロジェクター1台が贈呈されました。

24期生の入学式

桜満開の4月10日、K S C第24期生323名の入学式が、カレッジホールでおこなわれました。服部学長



は、式辞の中で、人生80年の長寿社会を迎えシルバー世代がいかに人生を豊かに生きるかについて学び、考え、実践する場としてシルバーカレッジは非常に優れた場であり、この場を選ばれた新入生の皆さんを大いに歓迎すること、また建学の精神である「再び学んで他のために」について、他のためには同時に自らのためであり、共に生きる「共生」の考え方が重要であることを話されました。24期生の期待と緊張が感じられる入学式でしたが、終了後のふれ

あいホールや中庭では各クラブの説明に積極的に質問する姿が目立ちました。なお、学長式辞と来賓祝辞の両方でグループに触れていただき、ボランティア活動を実践する各グループへの高い評価をいただきました。また、入学式運営において、グループは、従来通り駐車場整理や記念写真撮影でも協力しました。

東六郷小を招いて交流会

ようこそ東六郷小のみなさん—2月18日夕、しあわせの村で仙台・東六郷小の児童8人と付き添いの父母・先生ら一行20人を迎え、交流会が開かれました。東北支援を続けている村の「笑顔とどけ隊」が招いたもので、メンバーの団体やグループが参加しました。東六郷小は東日本大震災で甚大な被害を受

けて児童数も年々激減。全校でわずか8人となってしまい、3月で廃校になります。毎年、神戸市教委と福祉振興協会（村）が6年生を招待していましたが、今年



は”最後の年”となるので、全員を招いたものです。この日、一行は海洋博物館と防災未来センターを見学して夕方村に到着。児童代表、校長、PTA会長から「しあわせの村の皆さんにはこの5年間毎年、仙台まで来ていただき、プレゼントとパワーを届けてくださいました」と感謝の言葉があり、「笑顔とどけ隊」とグループからは、子どもたちへそれぞれお土産が贈られました。〈わ〉からは、小畑理事長と堺監事、南形徹が出席しました。一行は、この夜村のホテルで1泊。19日は鉄人28号を見て大阪へ。USJで遊んだあと、村へ戻り宿泊。20日は市教委を訪問。北野異人館を巡って夕方の便で伊丹空港から帰途につきました。

（文・写真 生14 南形 徹）

●カレッジ事務局人事

3月31日付【退任】 藤本義兼（事務局長）・田阪義英（学生支援リーダー）・葛尾健司（総務係）・北尾進（生環コーディネーター） 4月1日付【新任】 丸一功光（事務局長）・藤原三喜男（学生支援リーダー）・木村裕幸（事務局）・大橋一郎（生環コーディネーター）

（広報・藤田健一）